

大槌町健康生活調査(2011.4/23-5/8) 町民の皆様へのご報告

今日はその方々
全体の状況
をご報告

[ご自身の]
[大槌町の]
健康づくりにつ
いて考えてくだ
さい



全戸訪問で町内
約5100人の方
にお会いしまし
た

町にすぐに対
応が必要な
方の報告を
しました

平成23年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）
「地震による津波で被災した一人暮らし高齢者・高齢者世帯の生活再構築
のための支援過程の構造化」事業班

平成23年10月

大切な大槌町を再構築するために 本日お伝えしたいこと

1. 大槌町のいいところ、強みを再確認

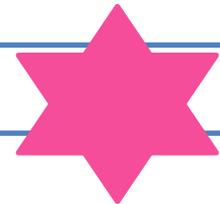
- 1) 自然：湧き水、淡水型イトヨ、サケ、海産物
- 2) 人：ぬくもり、愛着、連帯感

2. 健康生活調査や町の資料からわかったこと

- 1) 前からあった健康課題
- 2) 地震・津波災害がもたらした健康課題

3. これからどんな大槌町を創りましょうか？

- 1) 町民の元気を高め、人口減少も予防したい
- 2) 防災・減災のための意識と行動を伝承したい



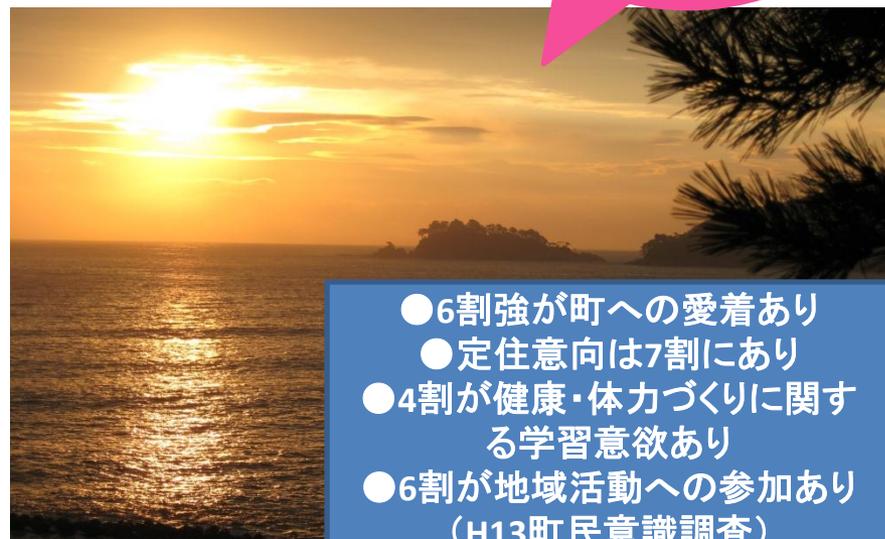
1. 大槌町のいいところ、強みを再確認

- 1) 自然： 湧き水、淡水型イトヨ、サケ、海産物
- 2) 人： めくもり、愛着、連帯感

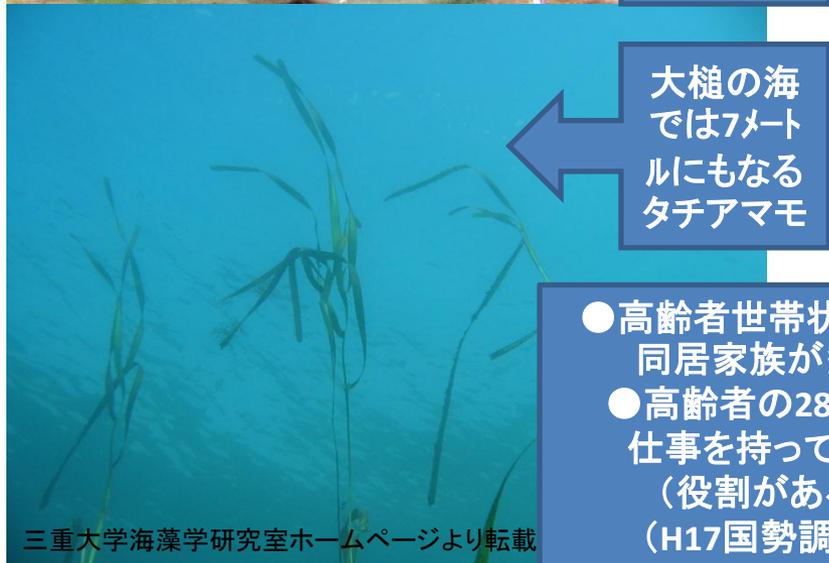
美しい
大槌町



震災後、
源水川源
流で確認
されたイト
ヨ(大槌町
佐々木健氏
提供
asahi.com)

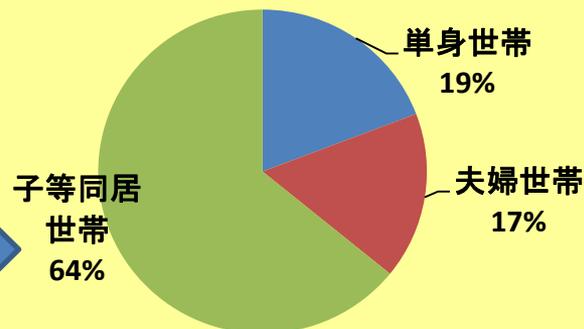


- 6割強が町への愛着あり
- 定住意向は7割にあり
- 4割が健康・体力づくりに関する学習意欲あり
- 6割が地域活動への参加あり
(H13町民意識調査)



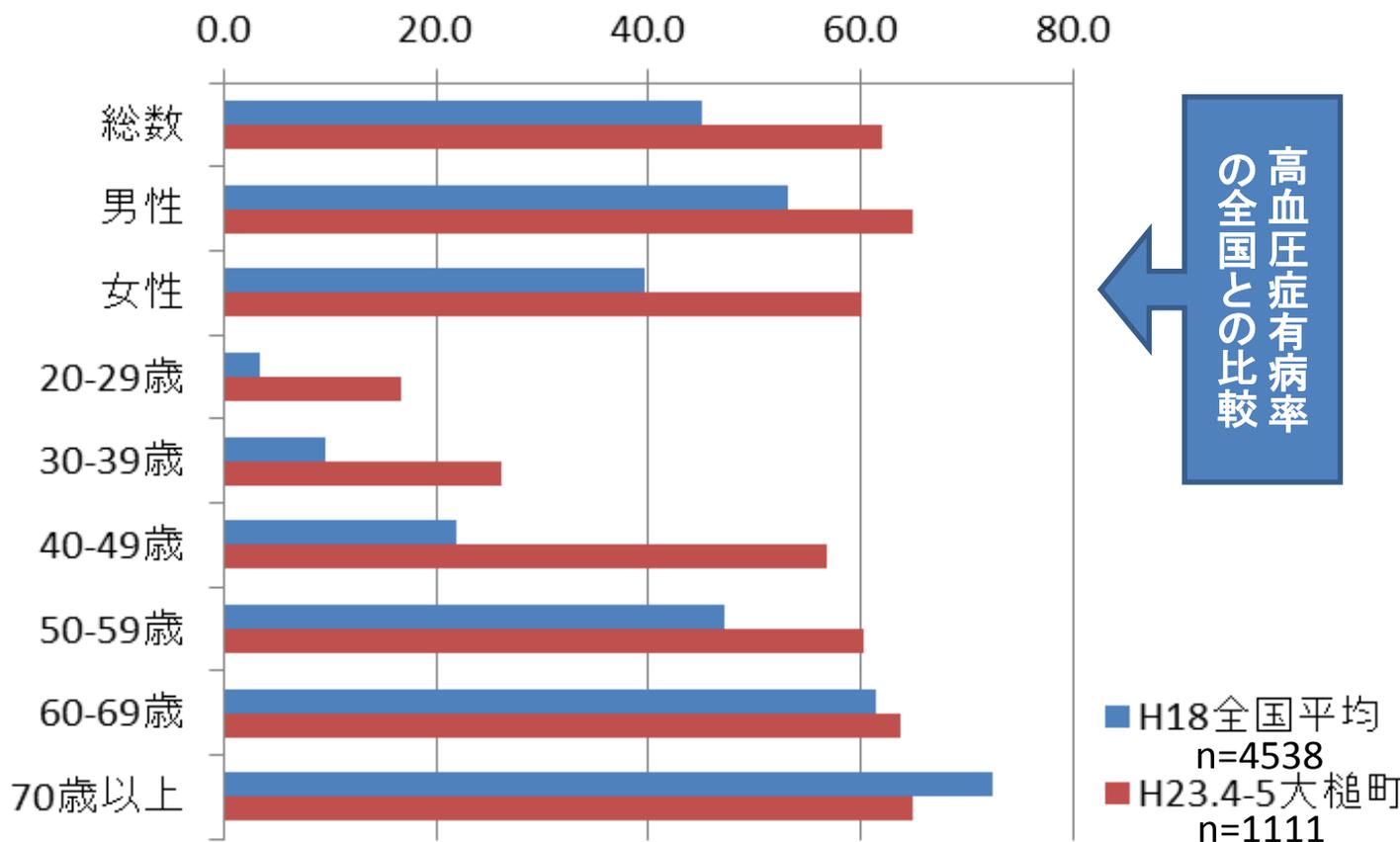
大槌の海
では7メー
トルにもなる
タチアマモ

- 高齢者世帯状況では
同居家族が多い
- 高齢者の28.4%が
仕事を持っている
(役割がある)
(H17国勢調査)



2. 健康生活調査や町の資料からわかったこと

- 1)前からあった健康課題
- 2)地震・津波災害がもたらした健康課題



■ **今こそ町民が本気で高血圧予防に取り組む強い町に！**

とりわけ減塩！

■ **経年の健診・健康チェックが必須！**

■ **それが生活習慣病、脳血管疾患 認知症の予防になる！**

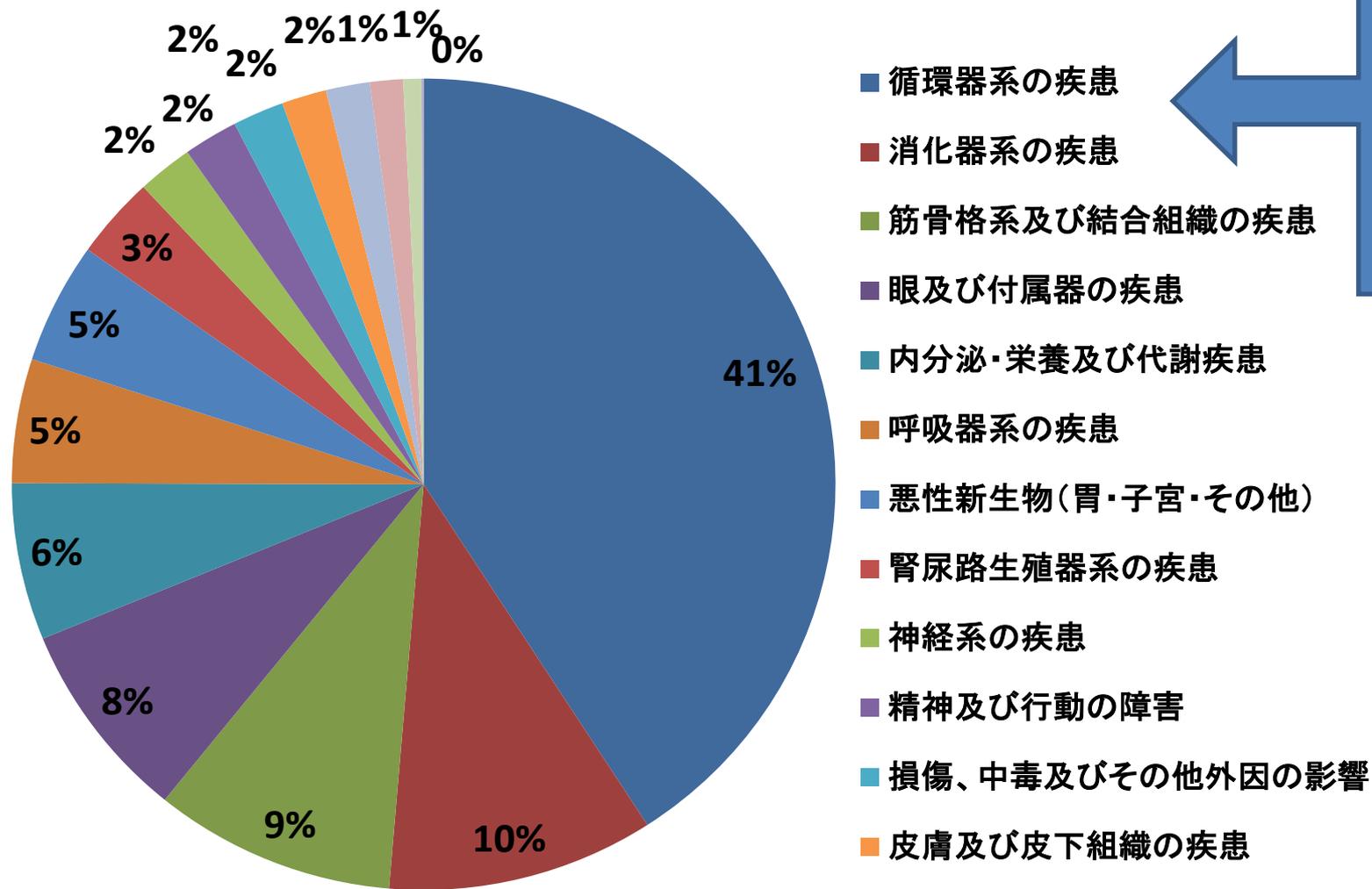
■ **こども、若者世代から取り組みを！**

■ **救急対応可・入院可の病院整備も急いで！**

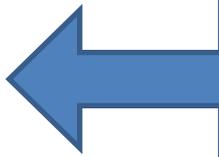
健康生活調査でわかったこと

1. いまままでに「高血圧あり」 4人にひとり
2. 今、生活習慣病関連疾患の方 3人にひとり
しかも女性は34.2%
3. 正常21.5%
正常高値血圧16.6%、収縮期高血圧31.2%
それより重い高血圧30.7%
→ 一歩手前、水際の方が多

高齢者の疾患分類状況(平成19年度)



もともと高血圧に起因する疾患が多かった



●背景には塩蔵の保存食(うど等山菜、サケ、海草類)、煮染め、手作り味噌・漬け物などの食文化がある

被災後の高血圧発症や悪化が顕著

血圧値の分類と「高血圧の既往歴・現病歴あり」「生活習慣病の現病歴あり」の関係

血圧値の分類	合計	高血圧の 現病歴・既往歴		現病歴生活習慣病 関連疾患		高血圧の 現病歴・既往歴		現病歴生活習慣病 関連疾患	
		なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり
					人				%
1 至適血圧	85	69	16	63	22	6.2	1.4	5.7	2.0
2 正常血圧	155	104	51	89	66	9.3	4.6	8.0	5.9
3 正常高値血圧	185	85	100	76	109	7.6	9.0	6.8	9.8
4 I度高血圧	138	72	66	67	71	6.5	5.9	6.0	6.4
5 II度高血圧	133	50	83	48	85	4.5	7.5	4.3	7.6
6 III度高血圧	70	24	46	25	45	2.2	4.1	2.2	4.0
7 収縮期高血圧	347	170	177	137	210	15.3	15.9	12.3	18.9
合計	1113	574	539	505	608	51.6	48.4	45.4	54.6

36.0%

31.9%

高血圧症の有無と自覚症状・心理的初期対応を要する状況との関連(有意差・傾向ありの抜粋)

血圧の分類		不眠		1過去のトラウマ・心理的問題		2災害による負傷		5経済的な問題		合計
		なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	
1.至適血圧	人	386	39	418	7	425	0	406	19	425
2.正常血圧	%	90.8	9.2	98.4	1.6	100.0	0.0	95.5	4.5	100.0
3.正常高値血圧										
4~6. I・II・III度高血圧	人	593	95	658	30	680	8	642	46	688
7.収縮期高血圧	%	86.2	13.8	95.6	4.4	98.8	1.2	93.3	6.7	100.0
カイ2乗検定有意確率		p=0.013 *		p=0.009 **		p=0.021 *		p=0.079 +		
合計	人	979	134	1076	37	1105	8	1048	65	1113
	%	88.0	12.0	96.7	3.3	99.3	0.7	94.2	5.8	100.0

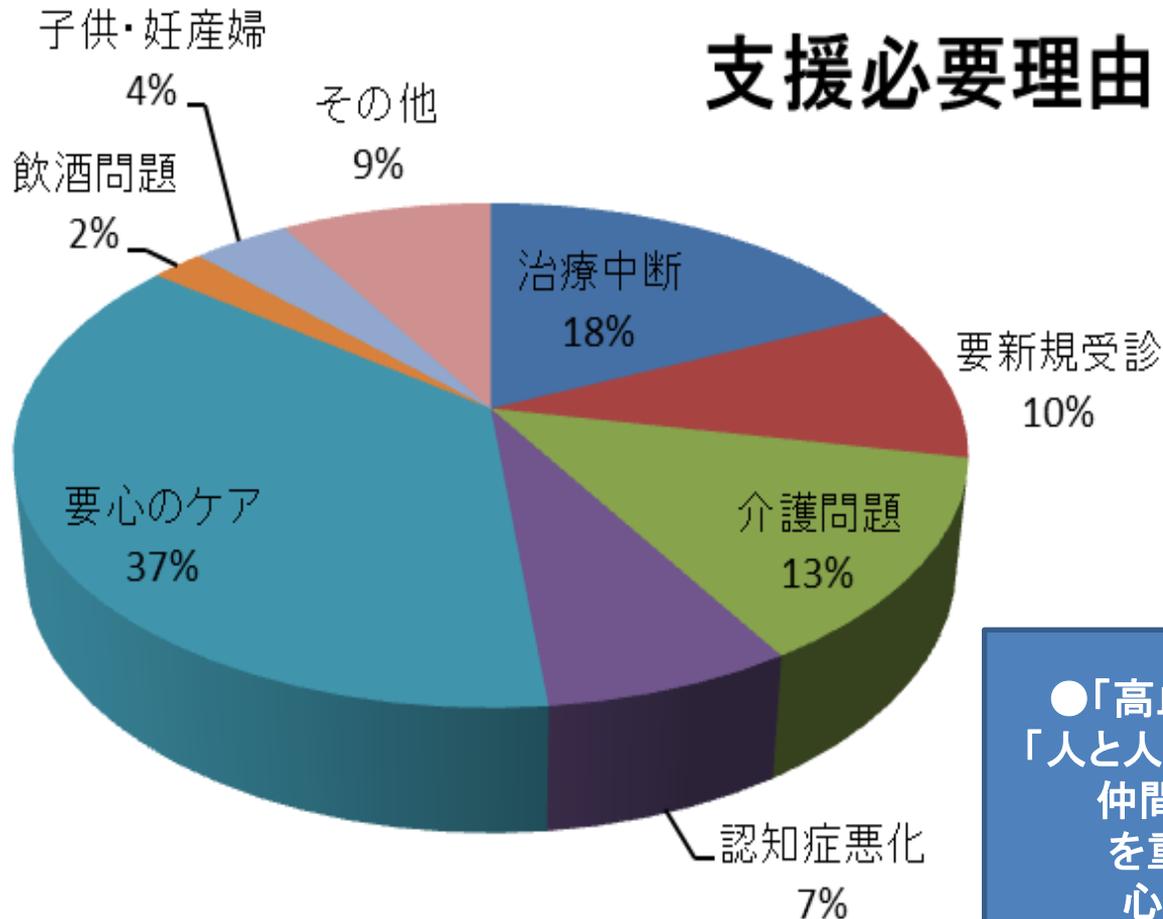
p<0.1 + p<0.05 * p<0.01 **

既往がなくて
震災後発症
者が多数

心身や社会的
問題が
高血圧の
引き金に

訪問調査で支援が必要となった方の理由

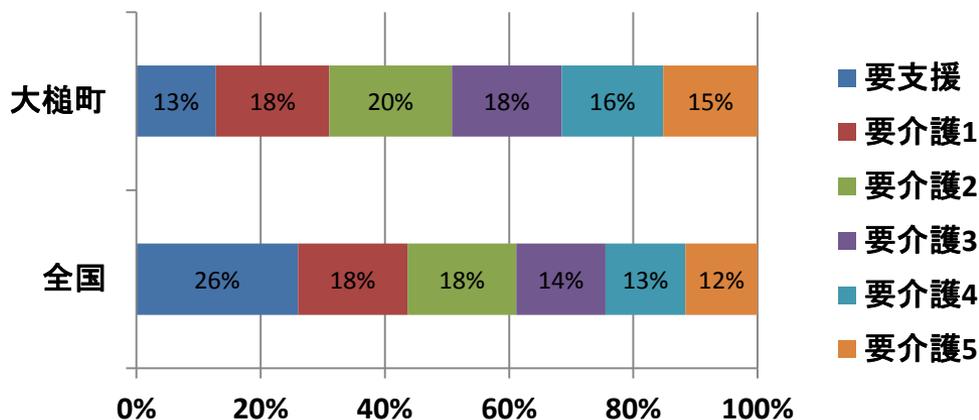
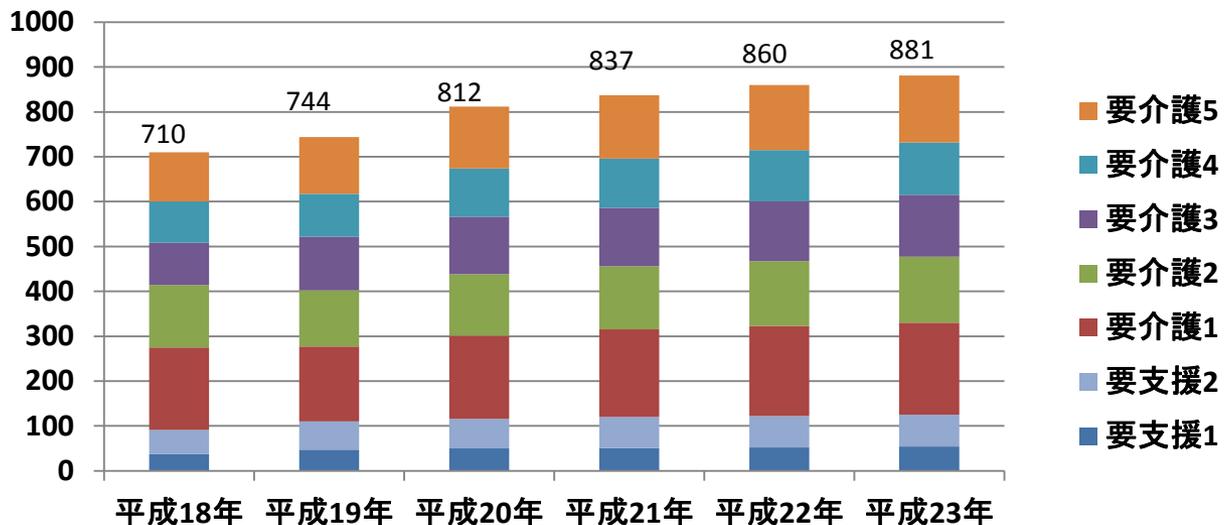
支援必要理由



「心のケアが必要」という理由が最も多かった。不眠の訴えも。

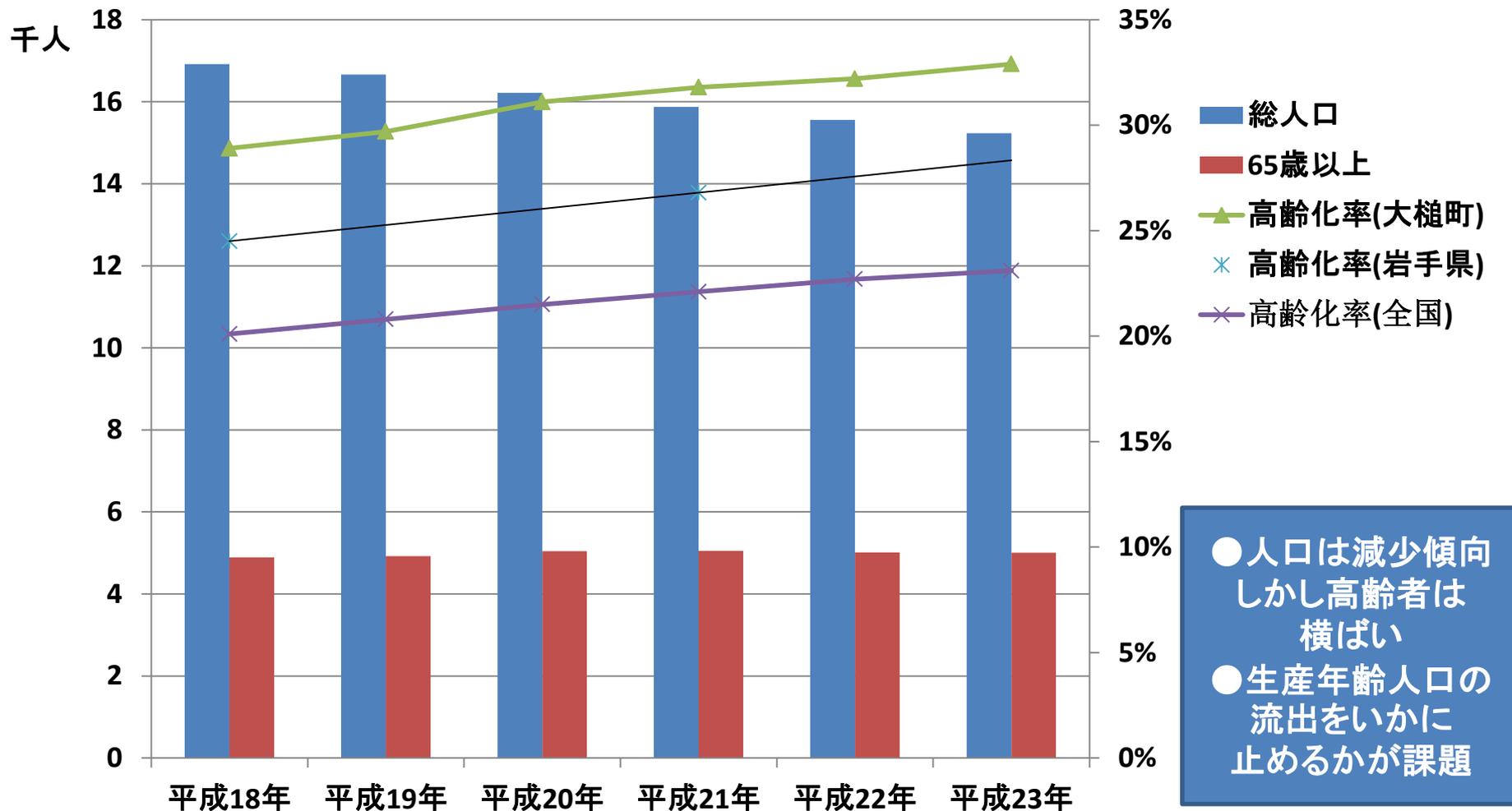
●「高血圧予防」は「人と人とのつながり・仲間とともに」を重視して、心のケアと一緒に進めよう！

要介護度別認定者数の年次推移と 全国と大槌町の比較(平成22年度)



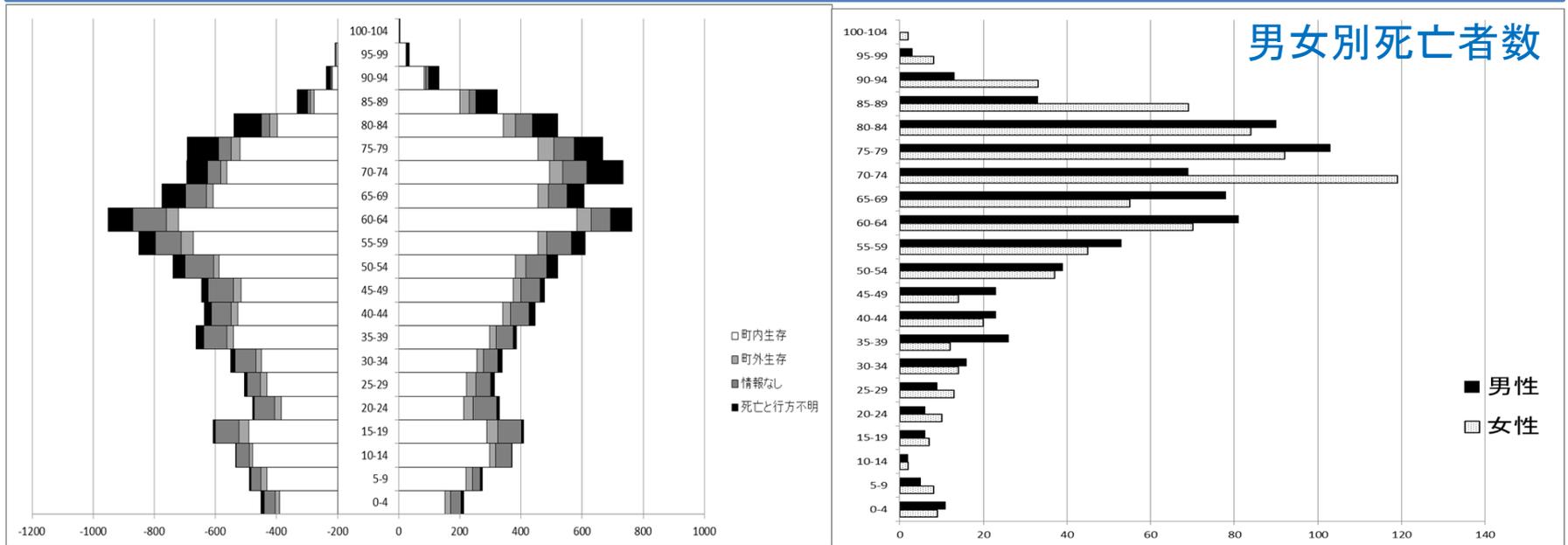
- 高齢化に伴い要支援・要介護の割合が増加
- 大槌町の特徴は、介護度の高い方の割合が高いこと
- やはり若い世代からの「予防」がキーワード！

大槌町の総人口と高齢化率の推移



地震・津波災害後の大槌町人口ピラミッド

- 1) 高齢者、働き盛りの方々を多く亡くしました。
- 2) 町外に行かれた方は各年齢層に渡っています。



- 力のある町民を増やしたい、魅力ある町づくりを重点施策に。
- 震災によって町外に出てしまった人たちを町の資源と考え、彼らが力を蓄えて戻って来ることができる基盤整備を。
- そして新たに若い人が入ってくる町づくりと広報。
- その人びとが新たな物流や産業を大槌町にもたらすように。
- 大槌町の文化を護りながら、これからの健康で安全な暮らしを皆で築きたい。

3. これからどんな大槌町を創りましょうか？

- 1) 町民の元気を高め、人口減少も予防したい
- 2) 防災・減災のための意識と行動を伝承したい

大槌を愛する
みんなの
生き抜く力を
ひとつに！

● 町勢要覧には津波について、「繰り返し押し寄せる災禍に負けず」とある

■ 苦しいこともあるだろさ、悲しいこともあるだろさ、だけどボクらはくじけない
泣くのはいやだ、笑っちゃおう、進め～！ ひよっこりひょうたん島～♪♪♪



大切な大槌町を再構築するために

●毎年、健康診査を受けて、ご自身の健康チェックをしてください。
ぜひ2011年12月8日～22日の機会をご利用ください。

●ひとりひとりの「こんな大槌町にしたい」という思いが宝です。
めざす方向に向けての創意工夫を出し合っていきましょう。

事業班代表	岡本 玲子	(岡山大学大学院保健学研究科 教授)
主管校委員	西田 真寿美	(岡山大学大学院保健学研究科 教授)
	小出 恵子	(岡山大学大学院保健学研究科 助教)
共同校委員	村嶋 幸代	(東京大学大学院医学系研究科 教授)
	鈴木 るり子	(岩手看護短期大学 教授)
	岸 恵美子	(帝京大学医療技術学部 教授)
	多田 敏子	(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 教授)
	酒井 陽子	(秋田県立衛生看護学院保健科 主幹兼班長)
	城島 哲子	(奈良県立医科大学医学部看護学科 教授)
	野村 美千江	(愛媛県立医療技術大学保健科学部 教授)
	岩本 里織	(神戸市看護大学看護学部 准教授)
	草野 恵美子	(千里金蘭大学看護学部 准教授)
	齋藤 美紀	(川崎医療福祉大学 講師)
	寺本 千恵	(東京大学大学院医学系研究科 博士前期課程院生)

協力：

一般社団法人 全国保健師教育機関協議会 東日本大震災復興支援教育・研究プロジェクト

作成 平成23年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金
(老人保健健康増進等事業分)
「地震による津波で被災した一人暮らし高齢者・高齢者世帯
の生活再構築のための支援過程の構造化」事業班

連絡先 〒700-8558
岡山県岡山市北区鹿田町 2-5-1
岡山大学大学院保健学研究科 岡本玲子研究室
事業班事務局 電話 : 086-235-6865
e-mail : phn@md.okayama-u.ac.jp